



### 2017 J2 ■順位表■ 第14節

勝点、得点、失点、得失点差、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	横浜FC	28p	22	8	+14	H●
2	福岡	27p	17	11	+6	
3	湘南	27p	17	13	+4	A△
4	東京V	26p	20	9	+11	A●
5	名古屋	25p	24	18	+6	A△
6	愛媛	24p	17	13	+4	
7	大分	23p	18	14	+4	H●
8	長崎	23p	19	16	+3	
9	徳島	22p	17	15	+2	A△
10	松本	19p	16	10	+6	H●
11	岐阜	19p	19	17	+2	---
12	千葉	19p	18	19	-1	
13	山形	19p	11	12	-1	
14	水戸	18p	14	14	0	HO
15	町田	17p	16	16	0	AO
16	京都	17p	17	18	-1	
17	岡山	15p	12	20	-8	
18	熊本	14p	15	22	-7	H●
19	金沢	13p	11	18	-7	HO
20	山口	10p	11	20	-9	H△
21	讃岐	9p	13	21	-8	AO
22	群馬	7p	9	29	-20	AO

### 次回HomeGame

第17節 vs. モンテディオ山形

6/3 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホムラン** TEL. 058-263-5201  
 名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)  
 年中無休 午後3時から営業

**Living in Woods**  
 本庄工業株式会社  
<http://www.honjo-woodream.com/>

**岡田歯科医院**  
 岐阜市加納新本町1-23  
 tel: 058-273-8998

**ALADDIN**  
 何も無い店だけ...  
 心の花が咲く...  
 何も無い店だけ...  
 心癒される...  
 忘れかけていた喫茶店がある  
 岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

### today's guest : V・ファーレン長崎

2016 J2 10勝17分15敗 勝ち点47:15位

#### 直近の対決と結果

2016/07/10  
 J2-22節@長崎県立

#### 長崎 2-1 岐阜

田中達也 scored.

#### ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		V・ファーレン長崎	
2017/05/17 J2-14節@長良川 岐阜 1-2 熊本		2017/05/17 J2-14節@トラス 長崎 2-1 大分	
2017/05/13 J2-13節@鳴門大塚 徳島 1-1 岐阜		2017/05/13 J2-13節@フクアリ 千葉 5-0 長崎	
2017/05/07 J2-12節@長良川 岐阜 1-2 大分		2017/05/07 J2-12節@トラス 長崎 0-0 水戸	

●2度目の5月3連戦の2戦目、5/17 (水) 第14節・熊本戦。下位の相手にホームで勝利を掴みたいFC岐阜だったが、FKが味方選手に当たってしまい、先制点を献上。後半に#28永島悠史の同点ゴールが決まるが、すぐに突き放される。試合終盤には何度も決定的な得点チャンスを作るが決めきれずに、1-2での悔しい敗戦。これでFC岐阜は、3連勝の後に3試合未勝利。順位は変わらず11位のままののだが、プレーオフ圏内(6位以上・愛媛)は勝ち点差4に、J1自動昇格(2位以上・福岡)も勝ち点差8と、さらに上位との差が開いてしまった。7位(大分)と16位(京都)の勝ち点差は6、あるいは自動降格圏(今季は21位以下)との勝ち点差は10のままであることを考えると、やはり徐々に上位が抜け出してきている。

また、これで今シーズン全42試合のうち14試合、3分の1の日程を消化したことになる。現在のFC岐阜は5勝4分5敗・19得点17失点と、ほぼ五分の成績を残している。かなり好成績のようにも思えるが、しかし昨年も第14節終了時には9位・勝ち点20と、今年より良い成績を残していて、その後に失速して残留争いを繰り広げたことを忘れてはいけない。シーズン前半戦終了まで、あと7試合。そして、上位との対戦が3チーム、下位が4チーム。ここで残りチームとの対戦を、いくつ勝てるか、あるいは勝ち点を積み上げられるかで、今シーズンの行く末が明らかになっていくだろう。

さて、そのシーズン中盤戦初戦、そして5月第2弾の3連戦の最終戦となる、今節の対戦相手はV・ファーレン長崎だ。昨年は15位に終わり、主力選手の多くが移籍。そして今シーズン開幕の直前に発覚した累積赤字・経営危機問題に大きく揺れたクラブだが、その騒動にも関わらずチームは好調を維持し、経営問題が一段落した現在は8位。上位相手に未勝利のFC岐阜にとっては厳しい相手だが、しかし、上位を倒さなければ、これ以上の順位は望めない。

長崎とのJリーグでの通算対戦成績は3勝1分4敗・10得点13失点と若干負け越し。岐阜のホーム戦では2勝1分1敗・6得点6失点。昨シーズンは6/4(土)第16節・ホーム戦で2-4、7/10(日)第22節・アウェイ戦を1-2と連敗。当時のエース永井龍(現・名古屋)に5得点を奪われる、散々な試合結果だった。

今年の長崎で最も警戒すべき選手は、#9ファンマであることは間違いない。今季新加入して既に8ゴールを挙げ、リーグ得点ランク2位タイ。現在の長崎の総得点19の半数近くを叩き出している絶対的エースだ。この長身188cmのスペイン人FWを自由にさせないこと、そしてファンマへボールを供給させないことが、岐阜の勝利に必要な不可欠だ。奇しくも岐阜の守護神は、長身191cmのスペイン人GK #25ビクトル。両選手とも、異国の地・日本での対戦を意識していないとは思えないが、岐阜としては、両選手ともが活躍しない(≒岐阜のピンチがない)試合展開を望みたい。また、そのファンマからのセカンドボールを拾われてのゴールにも要注意で、#19澤田崇が2得点、#20中村慶太が4得点。この辺りも岐阜の守備陣は注意したい。岐阜は守備の要・#27ヘニキが累積警告で出場停止なのが痛い、出場する選手たちの奮起に期待したい。また、岐阜の#24難波宏明は、長崎の高木監督が指揮を執った06年に、(2回目のJリーガーとして)横浜FCに入団している。かつての恩師への恩返し弾を、ここ長良川で是非とも見せて欲しいところだ。

チーム状況としては、3試合未勝利で足踏み。選手のコンディションも、2度目の3連戦最終戦と厳しい状況だ。しかし、ここはホーム・長良川だ。今節こそ勝利を。そのためにも、僕らは最後まで前向きに勝利を信じて、ひたむきに戦う岐阜の選手の背中を後押しをする拍手を、声援を送ろう。そして「万歳四唱」で勝利の喜びを分かち合おう。(ささたく)



「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

### 投稿募集!!

gidaidohri@gmail.com

## 【第14節】岐阜1-2熊本

●「う～ん、勝たなかった。勝たせてやりたかった。何が足りなかったのか？何かが足りなかったのか？とはいえ、有り体に言えば面白かった。ボクにとってはイイ試合。エキサイティングな試合だった。」

これは昨季の岐大通に投稿した、長良川での熊本戦の冒頭の一文。まさか、また同じような感想になるうとは……。仲間と言われて気がついたけど、長良川では熊本に勝てないねえ。この十年で一回勝っただけだっけ？とにかく、8月のアウェイでノシをつけてお返ししたいね。で、繰り返しになるけど試合自体は面白かった。失点は2点ともアンラッキーと言えるんじゃないか？1点目なんかは、もうどうしようもないボールの軌道。味方の壁に当たっての変化だからビクトルじゃなくてもノーチャンス。2点目も庄司のクリアが相手FWへの絶好のパスになっちゃう不運。大分戦のヘニキのクリアみたいな失点だった。ただ、そんなコトはお互いさまというか、よくある話。前節は徳島がウチに対して、そんなことを思ってただろう。とはいえ、徳島は勝ち点を手に入れたのにウチはゼロ。そこらへんは納得できてはいない（苦笑）。だいたい、キョーゴのシュートなんか、ふつうなら決まってるはずでしょう？あの雰囲気では決まらないのがおかしいと思うし（感想には個人差があります）、その前のヘニキのミドルも同様。まあ、あれは飛猿（俳優・野村将希）の息子をホメるべきかな？徳島戦のビクトルみたいだったよ（苦笑）。

次節は、ヘニキがお休み。今季最初の有給休暇が彼なのは折り込み済みだが、誰が替わりを務めるのか？三分の一が終わった時点で一試合休みというペースだと、今後は二試合停止が二回ほどあるかもしれない。それも含めて次節の長崎戦は、今季を戦う上での試金石になる。ウチのスタイルも相当研究されてきた。後ろでのパス回しを引っかけられるシーンも多くなったような気がする。その分、シュートを撃つという意識は高まってきているように思えるがどうだろう？

そんな中で迎える長崎戦。そういえば、今月の長良川は九州ばかりだな。負けっぱなしでいるのも、ここで上位から引き離されるのも面白くない。きっちりとホームで勝って、さらなる高みをめざしましょう！

（ぐん）

●今シーズン初、そして今季のホーム戦では唯一となる、平日水曜日のナイトゲーム。そりゃまあ、開門前に並んでるお客さんも…思ったほど少ないですね……まあ僕もそうなんです（苦笑）。結局、3,650人の観客がスタジアムに來場したのだけれど、これって岐阜の平日入場者記録を更新したんじゃないかな？下手したら、ちょっと前までの土日の試合より多いじゃんか（笑）。それだけ、今年のFC岐阜が注目されていること、あるいは、クラブが地域に浸透していつていること、そしてスタッフの努力の賜物だと僕は思います。しかし、今シーズン2回だけの平日ナイター、その2試合とも対戦相手が熊本だったのは、どういうことなの……これじゃ熊本での“復興支援”ができないじゃないか！（苦笑）

閑話休題。現在は4連敗・19位と低迷している熊本、“J昇格同期”としては若干気になるけれど、そんな心配をしている余裕は僕らにはない。しっかりと勝ちきらないといけない試合だと僕は思っていた。そして実際、試合序盤は、岐阜が若干優勢だったと思う。ところが裏に抜けだしかけた相手FWを#27ヘニキが倒してしまい、そのFKが#11古橋亨梧の足に当たって方向が変わり、岐阜のゴールへ。おいおい亨梧、ボールを入れるのは反対側……（苦笑）。しかし#25GKビクトルにはノーチャンスの失点だった。この後は再び岐阜が押し込むが、得点は奪えない。後半は再び盛り返して#28永島悠史のゴールで同点に追いつくけれど、「熊本の」#14田中達也に自陣深く切り込まれて上がったクロスから決められて2失点目。おいおい達也、久しぶりのスタメン出場でアシストって、ウチとの試合に備えてたのかよ……（苦笑）。

試合終盤は岐阜の猛攻。ノーゴール判定、あれは#24難波宏明の戻りオフサイドを採られたのか…そして亨梧のシュート、バーに当たったのは不運だったけれど、追加タイムのは決めて欲しかった…久しぶりに、ゴール裏のサポーターが崩れ落ちてたですよ（溜息）。不運も重なったけれど、課題もあった敗戦。パスで相手を崩しつつも、もっと貪欲にゴールを狙う姿勢がないと、ゴール前の守備を固めるであろう相手から得点を奪うことは厳しくなっていくだろう…そんな不安もよぎった敗戦だった。

（ささたく）

●これはちょっとヤバいかも……と不安になる試合だった。負けたことに対して、ではない。「2点目が奪えなかった」ことに対して、だ。「ヘニキの惜しいミドルもあったし、終了間際の古橋のシュートもあと少しだったし、それより何よりあれだけ攻めてたじゃないか」と思う方も少なくないだろう。実際、それはその通りだ。

熊本戦はなぜ負けたのか。「相手に多くゴールを奪われたから」か「相手より多くゴールを奪えなかったから」か。今季の岐阜は「相手にゴールを奪われない」という手は打てない。そういうサッカーをやっていない。両サイドの大本も福村もガンガン攻撃に参加する。中盤の底の庄司も、DFの前で止める守備要員ではなくピッチ全体を見渡してボール配給をコントロールする『レジスタ』の役割だ。守備を担当しているのはGKビクトルとセンターバックのヘニキと田森。なぜ、この少人数で守れるのかといえば、ボールを支配して相手のアタッキング・タイムを減らしているから。大木監督は雑誌の取材に「攻撃の時間を長く、守備の時間を少なくすることで失点を防ごう」と答えている。守備を磨く、という意志はあまりないと考えていい。

となると、熊本戦はなぜ負けたのかの答えは「相手より多くゴールを奪えなかったから」になる。ならば、「相手より多くゴールを奪う」しかない。実際、今季の岐阜はそういうサッカーをやっている。だから、観ていて嬉しい。わくわくするシーンも多い。サッカー・メディアからの評価も高い。しかし、そういうサッカーをやって、しかも結果を出すためにはゴールはしっかり奪わないといけない。大分戦は納得の敗戦だった。あのサッカーをやられて「相手より多くゴールを奪う」のは困難だ。岐阜より大分の方が強い。そういうことだ。しかし、熊本は（申し訳ないが）大分のようなサッカーをしていなかった。2点は奪える内容だった。「惜しかった」ではなく、奪わないといけないのだ。

大木監督のサッカーはロマン溢れる魅力的なものだ。しかし、「ロマンなサッカーは結果に対して非効率だ」というのは、これは洋の東西を問わず定説。ロマンチスト対リアリストのサッカーは、チョコ禁止のじゃんけんのようなもの。ロマンチストのゲーはリアリストのパーに必ず負ける。もちろん、「だから大木監督もリアリストになるべきだ」なんて思っていない。そんなことをしたら大木武ではなくなってしまふ。しかし、ぼくらは数多くのリアリストが跋扈するこのJ2という舞台で、効率を考えないロマンチズムを貫く大木サッカーの岐阜を応援しているのだという現実を引き受ける、これからも引き受けていく、その覚悟を問われているのだな……と、そんなことを熊本戦を観ながら考えていた。

（吉田鑄造）